

### <お宝ガーデンには夏の草花>

- お宝ガーデンは、6/22には夏の草花（ヒマワリ、マリーゴールド、日日草）に植え替えを行いました。その後、背の低いヒマワリは日影のせい、植えた後に強い雨が降ったためか、枯れてしまいました。奥の左右には生ごみ堆肥から発芽したトマトと、会員が提供してくれた甘長ししとうが育っていますが、やはり日当たりが良くないためか育ちが今一つです。他の花は元気に育っています。
- お宝農園は、数少ない抽選枠には入れず、今年は畑の作業はありません。



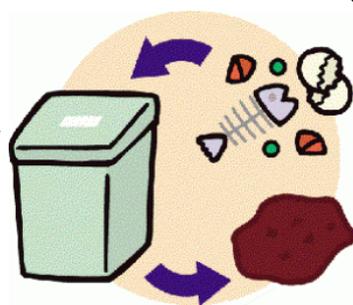
6/22 植え替え作業時



8/20の様子

### <生ごみ減量推進事業講習会は中止に>

8/27、8/28、8/30の3日間にわたって、区の生ごみ減量推進事業講習会を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染状況が大変厳しくなってきたために直前に中止となりました。今回の講習会の参加予定は112名と例年になく多かったので大変残念でしたが、今の感染状況を考えると仕方ありません。今後、担当課としても対策を考えられると思いますので、お宝倶楽部はできる限り協力をしていきたいと思っております。



### <プラスチックごみ削減へ>

前にお伝えしましたように、私たちは知らず知らずのうちにプラスチックを食べています。1週間でクレジットカード1枚分（5g）、1ヶ月ではハンガー1本分（21g）。プラスチックは私たちが食べる食事にも、飲む水にも、吸い込む空気にも含まれています。プラスチックは全ての人の体内に知らないうちに侵入しています。なぜこんなことが起きているのでしょうか。それは海洋への進出も深刻ですが、様々な産業や農林水産業、日常のあらゆる場面でプラスチックが使われているからです。そしてその劣化したプラスチックがどうなっていくかについて今まで気にしてこなかったからです。

事態の深刻さから、世界の国々は数年前からプラスチックの使用規制など様々なルール作りが始まりました。中でも使い捨ての容器への規制は、仏の段階を踏んだ使用禁止ルールをはじめ、使用規制が進められています。一方で、日本は一人当たりの容器包装用プラスチックごみの発生量が、アメリカに次いで世界で2番目に多い国です。海外に比べて対策が遅々として進まなかったのですが、漸く昨年からはレジ袋の有料化が始まりました（環境省調査では、コンビニでの辞退率は有料化前の28%から75%に増加し、一定の効果が表れているとのこと）。今年の6月にはプラスチック資源循環促進法が制定されました。

概要は、容器包装以外の製品も含めたプラスチックの一括回収や、使用量の多いプラスチック製品で、コンビニエンスストアやレストランなどで無償で提供されるスプーンやフォーク、ナイフ、ストローの他、宿泊施設のくしやカミソリ、歯ブラシ、クリーニング店のハンガーなど12種類に有料化や再利用が義務付けられました。使用量の多い弁当の容器なども対象に含めるべきだとの意見も出されたようですが、審議会での議論や意見公募などを踏まえて最終決定となるようです。

小さな一歩ですが来年4月から始まります。着実にプラスチックの削減に取り組んでいってほしいものです。

